

～石川県のシンボル～

県旗



「石川」の文字と地形をデザイン化したものです。地色の青は、日本海と豊かな緑・清い水・澄んだ空気という石川の恵まれた自然環境を表しています。(昭和47年10月1日制定)

郷土の花「クロユリ」



NHKが「郷土の花」として選んだもので、白山の弥陀ヶ原、室堂平付近に多く自生しています。風雪に耐えて咲く可憐な姿は、広く県民から親しまれています。(昭和29年3月19日)

ほっと石川 コミュニケーションマーク



「ほっと石川」は、石川の観光をアピールするためのキャッチフレーズで、「石川の活力と熱い気持ち」「温泉のあたたかさ」「ぬくもりのある出会いとてなしの心」「ほっとするひととき、くつろぎとやすらぎの石川」を表しています。

「ほっと石川」は、石川の観光をアピールするためのキャッチフレーズで、

県の木「あて」



能登地方に多く生育するヒノキアスナロのことで、北陸地方では「あて」と呼んでいます。家具や建築材、輪島漆の素材にも多く使われています。(昭和41年10月1日制定)

県の鳥「イヌワシ」



撮影：須藤一成

白山連峰に生育する日本最大級のワシで、英語でジャパニーズ・ゴールデン。イーグルと呼ば

れています。翼を広げると2メートルにもなる雄々しい姿と勇猛果敢な性格は、躍進する石川県を象徴しています。(昭和40年1月1日制定)